

コード	30301
作成年度	26年度

基本事業評価表

基本事業名称	在宅福祉サービスの充実
--------	-------------

総合計画の位置付け	
政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実
施策名称	お年寄りの元気を支える体制づくり

課コード	110	関係課名
主管課名	福祉長寿課	

基本事業の目的

介護保険制度による介護保険事業の円滑な推進を図ることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	介護給付費	成果指標名称 2	地域支援事業費
成果指標の積算根拠	実績値÷第5期計画値	成果指標の積算根拠	実績値÷第5期計画値
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	2,755,110千円	目標達成数値	45,000千円

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	千円	2,504,500	2,550,188	2,745,515	2,747,868	2,755,110
	実績 B		千円	2,550,142	2,674,885	2,738,733	2,789,359	-
	達成率 B/A		%	101.8	104.8	99.7	101.5	
成果指標 2	目標 A	単位	千円	60,883	62,069	43,000	45,000	45,000
	実績 B		千円	56,834	37,554	38,886	37,990	-
	達成率 B/A		%	93.4	60.5	90.4	84.4	

1次評価	現状	第5期計画が2年を終了し、ほぼ見込みどおりのサービス給付の推移である。今後とも介護サービス制度の主旨に沿い、効果的な利用、適正な給付につとめて行くことが必要である。
	課題	要介護認定者の出現率を抑えることで、給付費の削減に繋がる。給付費の増大は財源不足が生じることとなり、今後とも適正な給付及び財源確保のための保険料収納対策の強化を図って行く必要があると考える。
	改善	予防事業の積極的な取り組み。収納対策の更なる取り組み。給付の適正化のケアプラン点検等を進める。

2次評価	サービス受給者数の増加により介護給付費も増大しているため、介護給付費の適正化にも留意しながら利用者の要望に対応した介護保険制度の効率的な運用を図ること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	303010201	介護保険低所得者特別対策補助事業	福祉長寿課	44千円	(途中) このまま事業を継続
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				44千円	